

第56回

草津市美術展覧会

出陳目録

第48回滋賀県芸術文化祭参加事業

● 会期 ●

平成30年 **10月6日(土)～10月14日(日) 9:00～16:30**

(最終日のみ 16:00まで)

● 会場 ●

草津市役所2階特大会議室(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真)

● 主催 ●

草津市・草津市教育委員会

【出品状況】

部門	一般出品数	入選数	特別出陳	総陳列数
日本画	14	14	6	20
洋画	61	61	13	74
彫刻	9	9	6	15
工芸	21	21	8	29
書	43	43	15	58
写真	75	75	11	86
合計	223	223	59	282

※特別出陳・・・審査員、出品委嘱者、市展委員、無鑑査資格者

【審査員】（敬称略）

日本画	河村源三
洋画	山根須磨子
彫刻	土田隆生
工芸	井隼慶人
書	岡田祖翠
写真	井上秀昭

【表彰式】 平成30年10月14日（日）
13:30 ～
草津市役所 8階 大会議室

【批評会】 平成30年10月14日（日）
14:30 ～
草津市役所 2階 特大会議室 各展示場

【後援】（順不同）

朝日新聞大津総局・毎日新聞大津支局・読売新聞大津支局
産経新聞社・中日新聞社・京都新聞・NHK大津放送局・KBS京都
BBCびわ湖放送・株式会社えふえむ草津・草津市教育会・草津商工会議所
草津ライオンズクラブ・草津ロータリークラブ・草津美術協会
草津市21世紀文化芸術推進協議会・草津市国際交流協会

日本画

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
1	無鑑査	胡蝶蘭	青井 恵子	
2	無鑑査	夏のとげ	大橋 靖子	
3	市展委員	内なる光の道へ	早川 裕子	
4	市展委員	柿に橙	稲岡 仁彦	
5	審査員	宵	河村 源三	
6	無鑑査	清明	野村 政子	
7	佳作	潮騒	西野 薫	
8	特選	dahlia	岡村 恵子	
9	市展賞	春の音	扇 里砂子	
10	特選（草津市21世紀文化芸術推進協議会会長賞）	追憶	鶴飼 深雪	
11	特選（毎日新聞社賞）	残雪	東海 能久	
12		草津の街のうつりかわり	中川 きよ美	
13		湖北の春	後藤 寛治	
14		陽だまり	前田 澄子	
15		桜島（平成30）	鈴木 徹夫	
16	佳作	閑	太田 由紀子	
17	佳作	秋探訪	丸山 有子	
18		秋桜の咲く丘	山口 正男	
19		甘えっ子	矢原 功	
20		春呼ぶ山並	草川 京子	

※無鑑査の作品規格は、一般出品者とは異なります。

洋画

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
1		装う	酒井 寿美子	
2	佳作	soraの亀裂を表現する	岸田 章弓乃	
3		メイドと薔薇	掛田 靖	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
4	佳作	夢の中で	大西 隆夫	
5		天空	西村 征一郎	
6	特選（中日新聞社賞）	気配	石橋 国夫	
7	特選（NHK大津放送局長賞）	湖北の漁村	村上 陽子	
8		遊びの時間	木村 順一	
9		冬から春へー草津川	佐々木 豊	
10	佳作	光芒ーエディンバラ	畠中 博	
11		湖面	加隈 幸恵	
12	無鑑査	向日葵	神森 里子	
13	無鑑査	湖畔	植村 博志	
14	無鑑査	人形のある部屋で	望月 通代	
15	無鑑査	茅ぶきの郷	樫原 喜六	
16	出品委嘱	遠き日（エスキース）	岡島 春美	
17	出品委嘱	「リズム5」	福井 重男	
18	審査員	蓮花	山根 須磨子	
19	出品委嘱	赤倉雪景	新庄 拳吾	
20	無鑑査	初夏の街角	和田 さち子	
21	市展委員	蚕豆	田中 孝	
22	市展委員	のうぜんかずら	小山 万亀子	
23	無鑑査	梅雨の頃	中村 悦子	
24	無鑑査	痕跡	山元 敏子	
25		休む	安藤 敏雄	
26		廃屋	神山 康彦	
27	佳作	奉納の獅子	野口 俊子	
28		古い駅舎で一息	大森 治	
29	市展賞	ダブリンの街角で	山本 博子	
30	特選（草津美術協会会長賞）	蔵	柿沼 完治	

※題名、氏名、雅号については、常用漢字を使用しております。御了承ください。

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
31		野辺の友	白石 儀一	
32	佳作	朝露の贈り物	河合 千恵子	
33	佳作	秋の中津川の溪谷（福島）	松田 次雄	
34	佳作	薪割り	吉田 安今巳	
35	佳作	壊れゆく風景	川端 美知子	
36	佳作	新緑の八幡堀	堀井 信彦	
37		みずの森	柴田 みどり	
38		帰途―初秋の駒井沢―	高田 信	
39		比良山	川東 衛	
40	特選（草津ライオンズクラブ会長賞）	かあさんのミシン	高山 幸子	
41	特選	屋根を支える	河瀬 晃四郎	
42		燃え続ける奇跡	國松 秀雄	
43		ひとときの静（淡路植物園）	増山 恵子	
44	佳作	川辺に住む	伊藤 マリー	
45	佳作	情調の刻	野田 嘉郎	
46		俺達の空	中村 和夫	
47		橋杭岩からの朝日	三浦 武弘	
48		奥永源寺の溪流	三ッ國 照雄	
49	佳作	ドリーム	福原 和人	
50		琵琶湖大橋	湯ノ口 敏雄	
51		秩父鉄道 長瀬峡溪谷の滝	辻 廸子	
52	特選（草津市国際交流協会会長賞）	地藏川（醒井）	戸田 廣子	
53	特選（BBCびわ湖放送賞）	雪明	四方 勉	
54		緑映	森 邦博	
55		Days	川筋 朋代	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
56	佳作	晩夏のプロフィール	溝辺 行雄	
57		ラコリーナ	林家 清子	
58		駅舎	加藤 房江	
59		標高1600mの空気	橋口 恵奈	
60		存在	高野 裕子	
61		今日から中学生	中川 きよ美	
62		おもちゃのチャチャチャ	横田 隆子	
63		道標	下村 一則	
64		回顧	松永 富恵	
65		山	小山 淑恵	
66		会える日のために	福原 光子	
67		蓮沼	藤本 修	
68		能登の思い出	永井 晃	
69		おめかし	山田 ひで子	
70		存在～沖島にて～	藪内 和子	
71		いつも一緒	坂中 まとみ	
72		遠い日	中野 幸子	
73		新緑の光	大石 瑛子	
74		川辺の暮らし	山本 清子	

彫刻

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
1	市展委員	東洋のミューズⅡ～十六夜の頃～	伊庭 靖二	
2	市展委員	風を含んで	石田 秋次	
3	無鑑査	考	伊庭 照実	
4	審査員	見えなくても見える（裏を見て下さい）	土田 隆生	
5	特選	懺悔	三原 敏夫	
6	市展賞	tree nymph（木霊）	奥田 誠一	
7	出品委嘱	天女	笹山 幸徳	
8		こぼれそう・・・星屑？涙？	吉村 正子	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
9	佳作	獲物を狙うネコ	渡辺 紘	
10		幸せな時 by浜辺	宮田 千穂	
11	出品委嘱	若者よ	西村 王允	
12		金剛蔵王権現	北川 良一	
13	特選（産経新聞社賞）	TORSO～女神～	安井 豊作	
14		若葉	高野 裕子	
15	佳作	どうぞ こちらへ	山中 貞之	

工芸

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
1	無鑑査	宙（そら）	下川 まち子	
2	特選（朝日新聞社賞）	夏が来る	望月 富美子	
3		ワタシ ノ クラムボン	木下 ゆみか	
4	出品委嘱	春動	宮崎 芳郎	
5	佳作	花火	武田 黎子	
6	審査員	出航	井隼 慶人	
7	出品委嘱	冬華	高橋 政男	
8	出品委嘱	銀彩の象	加藤 敏雄	
9	市展委員	青い華	奥河 基子	
10	市展委員	巡想	三原 サダ子	
11	無鑑査	夫婦湯呑	中野 信行	
12		ミュシャ（桜草）	平田 香津子	
13	特選（滋賀県芸術文化祭奨励賞）	水中花	森貞 豊子	
14	市展賞	タイ イーベンロイクラト ン祭	伊藤 尉津子	
15		さざなみ	望月 公司	
16		星月夜	中野 和彦	
17		自然の宝物	田村 桜介	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
18		歪曲を繰り返す世の中で身を振る答えと既出の答え	廣森 めぐみ	
19		心の動き	宮田 千穂	
20		涼しい円柱	池畑 恵一	
21		失意	北澤 観世	
22		雲海	杉江 貞男	
23	佳作	火水	奥田 創太	
24		烏丸半島の魚	築地原 尚美	
25	特選	紬	北川 恵美子	
26		酷暑が終り	望月 真寸男	
27		煙火	山田 克美	
28		初めての	加藤 彩	
29	佳作	熱いまなざし	池畑 夏美	

※無鑑査の作品規格は、一般出品者とは異なります。

書

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
1		陶淵明の詩句	古田 みちよ	
2		秋の歌二首	前田 秀子	
3		柳宗元詩	吉川 幸子	幸子
4	佳作	李白「独坐敬亭山」	奥村 守男	守峰
5	特選（草津市議会議長賞）	丘濬詩	竹村 弘子	
6	市展賞	舟次鐔津	長谷川 久枝	桂園
7	特選（草津商工会議所会頭賞）	雪	相宗 真理	真翠
8		王英詩	倉崎 富司	鳴泉
9		杜甫詩	杉山 瞳	
10		袁凱詩	本坊 昌代	芳香
11	特選（京都新聞社賞）	程本立詩	田中 久美子	久華

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
12	特選	蘇平詩	岩田 恵子	
13		魏觀詩	金子 美由紀	
14	佳作	虞謙詩	園 滋	
15		趙介詩	西澤 秀次	秀次
16		史鑑詩	我孫子 弘子	弘湖
17		韓愈詩	千賀 美奈子	美奈子
18	佳作	王沂詩	鶴飼 千代子	紀香
19	佳作	虞謙詩	安田 きよ子	清子
20		虛堂録詩	小林 由喜枝	石径
21	佳作	崔激詩	目片 美千子	杏佳
22		黄玄詩	小寺 けい子	青けい
23		王敏詩	渡辺 嘉奈子	嘉香
24		陳輔詩	寺嶋 由美子	夢実
25		秋の雨	金澤 洋子	素心
26	無鑑査	五言絶句	中村 清美	清婉
27	無鑑査	俵万智の歌	米村 絹代	玄秋
28	無鑑査	煙霞不遮梅香	中島 弘子	翠湖
29	無鑑査	秋の句	川添 裕子	翠湖
30	市展委員	禅林語句	中村 徹	徹堂
31	出品委嘱	五福寿齡高	松宮 忠夫	橘邨
32	出品委嘱	春風弄新陽	山本 清一	南竹
33	審査員	無塵	岡田 優三	祖翠
34	出品委嘱	智慧	岡本 了壽	藍石
35	市展委員	中原中也の詩から	及川 淳子	青湖
36	市展委員	福壽	今居 潤子	青桃
37	無鑑査	彩鳳雙飛	小倉 緑	翠苑
38	無鑑査	溪光山影動浮虚	小野澤 絹代	蕙湖
39	無鑑査	赤壁之賦	中西 長雄	長安
40	無鑑査	葉上秋光白露寒	徳地 比佐美	湖咲
41		陶淵明の詩句	西川 邦子	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
42	佳作	王維	高野 裕子	翠光
43		易恒詩	中嶋 文子	湖響
44		吳志淳詩	久保 敦子	紫湖
45		春の草	三浦 久美子	清舟
46		黄玄詩	奥村 和子	
47		時和歳楽 山高水長	山本 真理子	麗竹
48		額田王の歌	辻 美子	
49		荀子の一節	山田 智子	桃清
50		遺安堂為周文伯題	徳本 恵子	恵彩
51		登浮碧樓	田中 俊一	叡峰
52		蓮を種える	馬場 愛子	愛雲
53		陶淵明の詩句	奥平 成明	
54	佳作	佐千夫歌集	田村 恵子	
55		雪中歌	山本 明子	湖上
56		近江百人一首歌	中村 佐智恵	芳翠
57		無礙	多田 功一	翠功
58		風そよぐ	南條 立樹	

※無鑑査の作品規格は、一般出品者とは異なります。

写真

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
1		千両役者登場（長浜子供歌舞伎より）	高尾 稔	
2		道頓堀川水面アート	矢野 暢英	
3		危ないヨ！	田中 康明	
4		釣り大好き！！	赤井 春雄	
5		光湧く	増尾 友和	
6	佳作	京のお化け	寺尾 幹男	
7		風雪に耐えて	福井 斉	
8		月は水平線に虹を見る	森田 真紀	
9		古式花踊り	西谷 國雄	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
10		大野神社の祭り	宮嶋 康明	
11		かくれ鬼	中山 敏夫	
12		晴れの舞台	赤枝 進	
13		瀧流	山本 清	
14		農婦	國松 博	
15		高原の夜明け	芝原 道子	
16	出品委嘱	湖北浅春（琵琶湖菅浦）	西岡 伸太	
17	出品委嘱	春待つ港	小林 賢司	
18	出品委嘱	春の野辺	澤野 二郎	
19		ステアズ	林 文信	
20		輝く夜	西川 美恵	
21	特選（KBS 京都賞）	夕暮れの朝霧橋で	藤堂 裕子	
22	市展賞	ゴール目指して	杉立 好正	
23	特選	晩秋	田中 忠太郎	
24		旅僧	寺田 裕彦	
25		槍満天光輝	瀬戸口 初男	
26	無鑑査	蓮	尾崎 良一	
27	無鑑査	入魂	石田 多恵子	
28	無鑑査	夜明け	山本 敏夫	
29	無鑑査	国境い	木村 正司	
30	無鑑査	北の渚	二宮 紀彦	
31		登る	岡部 厚子	
32		晩秋の戸隠連峰	吉田 利男	
33	特選（読 売新聞社 賞）	岐路	久島 正博	
34	佳作	彩華	濱村 昌義	
35		春光	安東 晋司	
36		きれいに植えたね	敷波 保夫	
37		コンクリート・ドラゴン	岩井 俊祐	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
38	佳作	睡蓮池冬景	橋詰 辰夫	
39	審査員	TRIANGLE CITY	井上 秀昭	
40		酷暑日	横川 栄仁	
41		斜光	木村 一彦	
42		夢をのせて	伊吹 達郎	
43		炎暑	小野田 研也	
44	佳作	サファイアの夢	植田 信子	
45		ゴールへの階段	藤田 文子	
46		妖	木村 孝一	
47	佳作	洒落者	河野 一友	
48		絵画を彷彿	大西 峰代	
49		恋（鯉）を見つめて	松村 里子	
50		天空湿原を往く	房安 幸夫	
51	特選（草 津市教育 長賞）	家路	仲野 隆	
52	佳作	待ち人	川筋 尾里枝	
53	市展委員	篤姫	高谷 禮子	
54	特選（草 津市教育 会会長 賞）	最期の飛翔	奥村 健司	
55	佳作	しぶき散る	丸田 良則	
56	市展委員	一隅	山元 國一	
57		力の源	吉村 紀夫	
58		矢橋浜初夏	山本 照夫	
59		冬の朝	今野 俊和	
60		古都を満喫	岩本 富士子	
61	佳作	朝霧幻影	北山 忠	
62		光跡	長澤 恒	
63	佳作	写し絵	倉田 幸雄	
64		女神	常石 由美子	
65		ト・ン・ボ	北垣 節子	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
66		Got It!	前川 勤	
67		季の遷い	山田 力	
68		初夏の漁港（沖島）	前波 誠郎	
69		白い花の群生	箕 勝次	
70	特選（えふえむ草津賞）	ブルーファンタジー	氷見 善信	
71		雨中共鳴	藤原 厚士	
72		静かに彩る	新屋 ゆり	
73		厳寒の羽	長谷川せつ子	
74	特選（草津ロータリークラブ会長賞）	夕暮れ時	吉村 英光	
75		飛び跳ねる	寺田 吉廣	
76		飛沫の造形	西村 幹夫	
77		温もり	渡辺 昌克	
78		番屋	本田 昭夫	
79		疾走	中野 一雄	
80		初陣	詫間 秀夫	
81		ペゴニアに魅せられて	尾崎 伸一	
82		道	日高 吉嗣	
83		リサイクル	猪飼 健司	
84		小さな助っ人	林 富士雄	
85		愛のかたち	藤崎 真穂	
86		湖畔の朝	前田 鉄矢	

日本画

(審査員) 河村 源三

○総評

絵を描くための、主題・メッセージ・モチーフが多岐にわたって各自が追求されている姿勢におおいに感心いたしました。日本画の美とは？日本の色とは？余白とは？いろいろ考えさせられました。

○市展賞

「春の音」

扇 里砂子

作者は、うつろう季節を、画面全体で表現されている。微妙な色彩で、感覚的に、モチーフを描写以上に高めている点に感心すると同時に、その感性がすばらしい。

○特選

「d a h l i a」

岡村 恵子

大胆な構図で、花を画面の中に配置し、その装飾性と平面的に扱う日本画の良いところが端的に感じられる。伝統的なモチーフでありながら、現代的で魅力的でもある。

○特選（草津市21世紀文化芸術推進協議会会長賞）「追憶」

鵜飼 深雪

小さな作品であるが、その完成度は高く評価される。生命の存在を凝視して、作品に向かっている姿勢が、日本画のもつ無常観につながっていると思います。

○特選（毎日新聞社賞）

「残雪」

東海 能久

冬の景色を、リアルに描写するのではなく、独自の表現としての抽象性までも感じられる。構図と色彩に東洋の美としての美意識までもが感性を通して表現されているのがよい。

洋画

(審査員) 山根 須磨子

○総評

応募作品30～80号の大きめの市展です。そのため、見応えのある作品が多数集まりました。今回二度目の審査ですが、昨年記憶に残っている作品の作者の一年の成果・変化（新たな作風に挑戦された方、大作に取り組みられた方等）を興味深く拝見しました。来年度、更なる制作への期待が膨らみます。

○市展賞

「ダブリンの街角で」 山本 博子

英国の陰鬱な空気の中、色とりどりの傘が突然の風に舞い踊っている一瞬を見事に捉えています。作品中の **WHISKEY** の文字と銀髪の人物、左右に張られたロープの配置も効果的で、印象深い作品に仕上がっています。

○特選

「屋根を支える」 河瀬 晃四郎

古民家の太い梁と幾重にも巻かれた縄が暗い画面に浮かび上がっています。大胆な構図と、確かな描写力による力強い作品です。作者の意図を強く感じます。自作と思われる額もより作品を引き立てています。

○特選（草津美術協会会長賞）

「蔵」 柿沼 完治

朽ちかけた古い蔵を、壁・扉・赤錆びたトタン、それぞれの質感を紙に描かれたと思えない強さで表現しています。ちょっと日なたぼっこに来たらしい二匹の猫を描くことにより、蔵の大きさや、田舎の周辺の情景までも目に浮かびます。

○特選（中日新聞社賞）

「気配」 石橋 国夫

抽象とも具象ともとれる作風です。じっくりと見ていますと、どんどん細部に引き込まれてゆきます。淡い色調の中、動めく細胞のようにも見てとれて、良く描かれています。白い額の中を5cmほど広げれば、より作品が引き立つと思われれます。

○特選（草津ライオンズクラブ会長賞）

「かあさんのミシン」 高山 幸子

テーマに、作者の感情の深さが見てとれます。お母様の留袖を古いミシンで今風に直されるのでしょうか？昔は既製服も少なく、各家庭で子供服を縫っていたことが懐かしく思い出されます。配色も良く、目を引く作品です。

○特選（BBC びわ湖放送賞） 「雪明」 四方 勉

昨年と作風が一変しました。色彩を落とした雪景色の中を歩いてゆく人物に作者の意図を感じますが、更に人物の描写を細やかにされれば、より効果的な印象を与えるのではないのでしょうか。

○特選（NHK 大津放送局長賞） 「湖北の漁村」 村上 陽子

波立つひなびた漁村の光景を、空気感をもって丁寧に描き込まれています。特に、水に半分沈んだ魚カゴの緻密さと、配置・構図は素晴らしいと思います。同様の色調の応募作品が多い中でも、特に完成度の高い作品です。

○特選（草津市国際交流協会会長賞） 「地蔵川（醒井）」 戸田 廣子

梅花藻で有名な地蔵川を描かれています。水路をテーマにした作品は、今回も多く出品されていましたが、特にこの作品の色彩の軽やかさに注目致しました。爽やかな空気と光をよく出せています。

彫刻

(審査員) 土田 隆生

○総評

出品数9点というのは、昨今の各市展の状況に比して、少なくなく、むしろ多い方かと思われます。しかもその全てが良作揃いで、入賞作を選ぶのに時間がかかりました。優れた市展委員・出品委嘱作を併せての陳列により、質の高い展覧となりました。熟練の技による具象作と自由感のある抽象作が混じり、観る人々を楽しませてくれるでしょう。

○市展賞

「tree nymph (木霊)」 奥田 誠一

自然の樹木と人体という、異質材のコラボ作品です。異質材の組み合わせは、とかく調和・統一感を欠く危険性がともなうものですが、人体表現の紙を古紙風に、且つこがしを施すことにより木に融和させています。樹木の精選センスと、張り型による人体表現の高度な表現技法に高い芸術性と独創性を感じさせる優作です。広い意味での環境芸術です。

○特選

「懺悔」

三原 敏夫

人体を思い切って圧縮し再構築した作で、シリーズとして連作されています。立体を平面化的にデフォルメ（変形）することにより、観る側を精神的内実の世界へと導く秀作です。このデフォルメは、確かな基礎的デッサン力に支えられたものだけに、説得力が有ります。

○特選（産経新聞社賞）

「TORSO～女神～」 安井 豊作

手足を表現しないで、ボディの肉づけの迫力を際立たせた等身大彫塑作です。粘土の量塊の構築で造形の世界を展開するという、近代彫塑の基本に徹した、将に“土が生きている”ことを感じさせる生命力溢れた良作です。

工芸

(審査員) 井 隼 慶 人

○総評

平面、立体共、制作する者にとって大切な、自分の中に存る何か新しい事柄を探り出した気持がそれぞれの作品の中に見えました。賞の対象からはずれた作品の中にも優れた創作性を見ることが出来ました。新しいものを産み出す苦しさと、その後に分られる探求する喜びや充実感を覚えて頂ければと思います。

○市展賞

「タイ イーペンロイクラトン祭」 伊藤 尉津子

刺子の新しい表現の可能性を求める気持ちがお祭りのテーマによく生きています。刺子の伝統的な色彩にこだわらず、お祭りのイメージを生かす色彩の有り方がおもしろく見えますが、もう一歩前に進む為、定形のブロックパターンがどうしても必要かどうかの見極めと、より強い色彩の表現が次の展開につながるのではと思います。

○特選

「紬」

北川 恵美子

形態にそった選択された色彩と模様との在り方に大変優れた感性を感じます。デリケートな表現の中に整った形の美しさを感じさせます。

○特選 (滋賀県芸術文化祭奨励賞)

「水中花」

森貞 豊子

水の中に在る色々の生態を想像させるおもしろい作品で白色、緑色、紺色が大変有機的に構成されています。

○特選 (朝日新聞社賞)

「夏が来る」

望月 富美子

夏を前に秘やかに咲く夏ツバキの様子が作者の夏を待つ想いとして静かに伝わる良い作品です。ローケツ染めと手描き方法がうまくマッチしています。

書

(審査員) 岡田祖翠

○総評

特選5点(市展賞含む)、佳作7点、入選43点。作品のレベルも年々上ってきて、審査は厳重に行った。2×8尺、2.6×6尺作が殆んどで、その中から最近の中央展(日展、読売展、日本書芸院展等)の傾向から、強い線質、墨の墨量、潤滑、作品構成、練熟度等を勘案して入賞作を選んだ。次回には多くの秀作を期待しています。

○市展賞 「舟次鐔津」 長谷川 久枝(桂園)
練熟の筆致で上から下への流れがよい、大きな風貌で堂々の作である。

○特選 「蘇平詩」 岩田 恵子
行間を明るく構成して、スッキリと仕上げている手腕は見事である。筆使いも巧みである。

○特選(草津市議会議長賞) 「丘濬詩」 竹村 弘子
墨の潤滑を利かせて、筆の動きも大きい秀作です。黒白の対比も上手く余白も生きています。

○特選(京都新聞社賞) 「程本立詩」 田中 久美子(久華)
強い線質と墨量を利かせて、堂々とした作で見応えがあります。黒と白の字の大きさのバランスの限界?これ以上になると破綻するかも。

○特選(草津商工会議所会頭賞) 「雪」 相宗 真理(真翠)
墨が紙に充分沈着して重厚な雰囲気を出している。墨の潤滑も利いて堂々の作。

写真

(審査員) 井上 秀 昭

○総評

応募された皆様が楽しんで写真を撮られている様子が作品を通じて感じられました。自由な発想、様々な視点等で撮影されたバラエティー豊かな作品に触れ、大変嬉しく思っています。撮影者の「想い」や「感動」、そして「写真力」を総合的に判断して「人の琴線」に触れる要素を持った作品が、おのずと選ばれました。

これからも一期一会の出会いを大切にしながら、心に響くような素敵な作品を期待しています。最後になりましたが、日々、写真を撮ることの楽しさ、素晴らしさを忘れず、健康で素敵な写真ライフを過ごされることを切に願っております。

○市展賞

「ゴール目指して」 杉立 好正

ヨットに乗りながらの撮影だと思いますが、光線状態をうまく生かした無駄のない画面構成、点景人物の取り入れ方、そして色情報をなくしたモノクロの表現等、作者は作画のポイントを心得ておられるようです。明日への希望や勇気がわいてくるような素晴らしい作品です。

○特選

「晩秋」 田中 忠太郎

広角レンズの遠近感をうまく利用して、古木を前景に大胆に切り取った秋の風情がよく伝わってきます。又、古木の緑色と背景の柿のオレンジ色とのコントラストも絶妙です。写真は画面構成で決まるとよく言われますが、お手本のような感じです。

○特選（草津市教育長賞）

「家路」 仲野 隆

美山の里の撮影ポイントですね。地元の仲の良い2人が世間話に花を咲かせながら、のんびりと自宅に向かっていく様子をかやぶきの家と赤いポストを入れて撮影されています。少しオーソドックスなところもありますが、何か印象に残る写真です。

○特選（読売新聞社賞）

「岐路」 久島 正博

たまたま発見されたのか？それともシャッターチャンスを待っておられたのか？うまく一人の女性を点景としてとらえ、路面の標識と対比させて撮られた感性は素晴らしいです。標識の矢印の方向と女性の歩いていく方向が同じで写真の内容に深みが出ました。一瞬の判断が功を奏しています。

○特選（草津市教育会会長賞） 「最期の飛翔」 奥村 健司

昆虫写真は生態写真が多い中、ハス田で見かけられた小さな昆虫の飛翔をハスの葉をバックにタイミングよく撮られた秀作です。ピントもシャープですね。タイトルの「最期」の意味が理解できなかったのですが、よく見ると昆虫の羽がボロボロで納得しました。これからもインセクトの世界を楽しんで下さい。

○特選（KBS京都賞） 「夕暮れの朝霧橋で」 藤堂 裕子

普通なら、人物全体と石畳を撮影しがちですが、大胆に人物の上半身を切ったことにより、陽光輝く石畳が強調され、奥行きが出ました。見る者の視線が石畳に注がれ、より印象的な作品になりました。

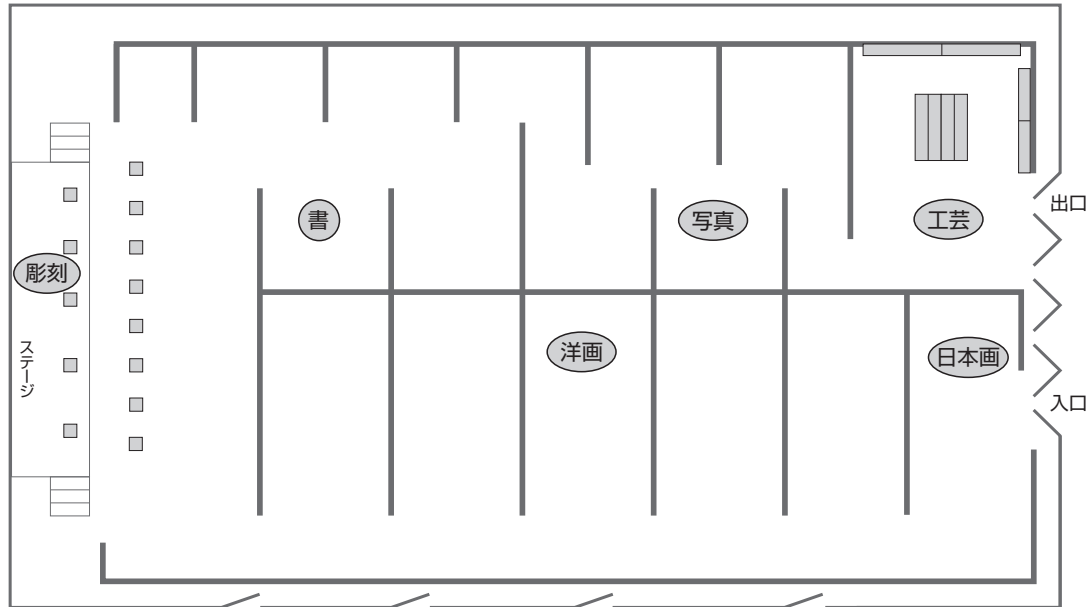
○特選（草津ロータークラブ会長賞） 「夕暮れ時」 吉村 英光

ビニールハウスの所有者なのか？夕方の光を受けて紅に染まるビニールハウスを背景に、ご婦人と犬が物語性を作っています。黄昏時の美しさが情感豊かに表現されており、作者のカメラアイが光る素敵な作品となりました。

○特選（えふえむ草津賞） 「ブルーファンタジー」 氷見 善信

前日に降った雨なののでしょうか？それとも、驟雨の後なののでしょうか？花びらにくっつもの水滴がつき、やわらかい光線の中、美しく、さわやかに咲き誇っています。撮影のタイミングが素晴らしく良く、前ボケと後ボケも申し分ありません。雨を喜び、楽しく合唱しているようにも見えます。じっと見ていると心洗われる作品で、心が和みますね。

会場案内図



草津市民憲章

私たち草津市民は

- 一、古い歴史にとけあつた新しい文化をつくり、
住みよいまちをきずくためにあたたかい心を持ち
ちあつて、ともにあすへの歩みを進めましょう。
- 一、豊かな生産に努めましょう。
- 一、高い教養を伸ばしましょう。
- 一、明るい環境を整えましょう。
- 一、良い風習を育てましょう。